



岩観音護持会
会長
高崎成敏さん

きらり！ No.39
まちの主役

下芦野にある堂の下の岩観音には年間通して多くの人が訪れ、芦野石の岩肌にたたく赤い屋根の観音堂で参拝します。特に春は、これらを取り巻くように咲き乱れるエドヒガンやソメイヨシノ、ふもとに広がる菜の花畑がひとつの景色となり、県内外から観光客やカメラ愛好家たちが訪れ、この景色を楽しんでいます。下芦野にお住まいの高崎成敏さん(71)は、護持会の会長として地域住民と協力し、観音堂の保存、階段や周辺の歩道の整備、そして桜の時期のライトアップ等、さまざまな活動をしています。

高崎さんが会長になったのは7年前で、すでに行われていたライトアップに加えて、現在は本尊の開帳に合わせて桜まつりを開催しています。周辺の環境整備には各種助成金等を活用しており、後継者たちの負担が少なくなるように、やれることは今のうちにやっていると、目標も聞かせてくれました。水芭蕉やアジサイ、秋にはモミジが見事に紅葉し、四季ごとの魅力あふれる岩観音は、高崎さんはじめ地域の皆さんの、日頃の活動の成果の表れだということがわかりました。(関連記事25ページ)

那須文芸

俳句

初採りのふきのとう揚げ供へけり	洪井 英子
禅寺の池清めたり春の水	深沢 為寿
点滴の押し流したる春の風邪	深沢 千郷
絵手紙の辻ごと飾る春城下	大場 芦山
二つ三つ持病を抱へ春寒し	松本 和子
立乗りのブランコ空を引き寄せて	須藤さよ子
小さき手を並べて受くる雛あられ	田部井清子
心地よく春眠にあり一句得し	山口 生石
飼ひ犬の芸はお手のみ山笑ふ	鮎瀬 汀
部活終へペダル踏む子ら春夕焼	平岡 丈子
摘み草や記憶の底の祖母と母	齋藤 照代
京の宿摘み草料理雅あり	白田 静江
摘草やぽっくり下駄の鈴の音	仲川 光風
摘草や食料難の戦後なり	七海 英音
眼裏に火の山白し涅槃西風	長島 啓子
明かり消し春夕焼の消ゆるまで	小森 静江
苦も楽も生きぬくこの世老の春	大島 昇
誰となく人恋しきや春夕焼	津田イツ子
母の愚痴思ひ出しては草を摘む	田中 思楼

◎今月の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした。

短歌

背伸びしていちご取る手は幼なくて	塩島 恵子
一杯頬張る笑顔も一杯	
陽炎る牧場に遊ぶ牛の群	
反すうしつつか四肢投げ出して	中島 君江

広報「那須」がパソコン・スマートフォンで読めます

県内の広報紙などをまとめた電子書籍ポータルサイト「トチギーブックス」に広報「那須」が掲載されています。

電子書籍なので、本をめくる感覚で閲覧することができます。(専用アプリのダウンロードは不要です)是非ご利用ください。

URL : <http://www.tochigi-ebooks.jp>

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 4月17日(火)

■俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901